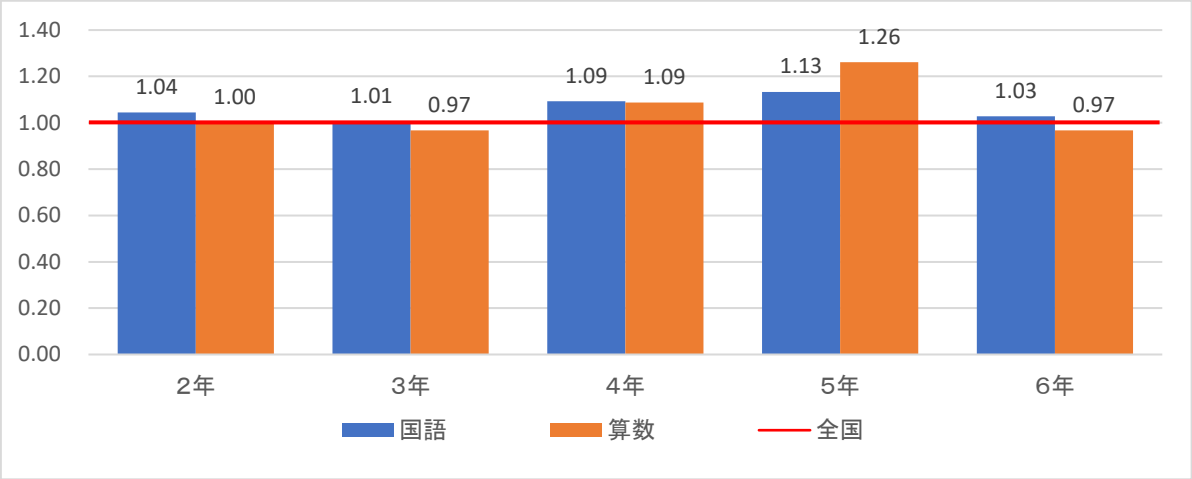
令和６年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について
第六中学校区　国松緑丘小学校

○調査結果（全国平均を１とした場合の平均正答率の比）



※小学２～５年生は寝屋川市学習到達度調査、小学６年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「書くこと」領域では全国平均をどの学年も上回ったが、「読むこと」領域には課題がある。引き続き、意見や考えの根拠を文章内に的確に見つけ、問われていることの内容を明確にして考える力を養っていく。
	算数	「式と計算」では全国平均を上回った。説明を要する問題での伸びが顕著に見られ、授業研究の成果が着実に出ている。引き続き、習熟度別少人数授業によるきめ細かな指導を行っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	昨年度まで課題であった「書くこと」領域が大きく改善し、「書くこと」「語彙力を高める」に焦点化した取組の成果が見られる。引き続き、ディベート学習等を通して、色々な情報の中から問われているものを探し出し、適切に文章化する練習を重ねていく。
	算数	「数と計算」では全国平均を大きく上回ったが、「図形」領域に課題が見られた。公式にあてはめて解答する力に留まらず、数学的な考え方を問う学習場面を増やし、授業改善を図っていく。
	質問紙	「学校に行くのは楽しい」「先生は自分のことを褒めてくれる」などの肯定的回答が全国平均より 10 ポイントほど高く、学校生活や学校の授業をとても好意的にとらえている。一方で、「家庭学習の時間」が短いという課題が見られる。引き続き、家庭学習の充実に取り組んでいく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

全国学力・学習状況調査、市到達度調査の結果を踏まえ、課題の共有と対応策の構築を図る。また、寝屋川スタンダードに基づき、ディベート教育や家庭学習ノートなど、中学校区での統一した取組を行い、小中学校の学習体制の段差を解消するシステムづくりに努めている。小中連携会議においては各教科の課題や対策を共有し、校区の子どもの実態把握に努めている。

【　本　校　】

各種学力調査の結果分析を行い、習熟度別少人数授業や放課後学習等を活用しながら学力の二極化の解消、不得意分野の克服を図っている。また、子ども達の「説明する力の育成」に向けた授業研究を行い、「わかる・できる授業」への授業改善を推進している。さらに、ディベート学習、各教科での話し合いや発表を行う学習場面を充実させ、「考える力」の育成を図っている。